

ガソリン携行缶の 適正な取り扱いについて

表示

車両等で運搬する場合は、容器の外部に表示すること。

ガソリン

火気厳禁

20ℓ

危険性

-40℃でも気化するためとても危険です。



ガソリン携行缶を



正しく使うポイント！

容器

灯油用ポリエチレンかんにガソリンを入れることは非常に危険です。



噴出防止

噴出は事故につながります。取扱いには十分注意してください。

！噴出注意！

- ★周囲の安全を確認
- ★フタを開ける前に
 - ①エンジン停止
 - ②エア抜きをする
- ★高温の場所禁止



購入

セルフスタンドでは利用者自らは容器には入れられません。



保管

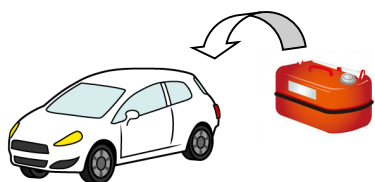
中身を入れたまま長期間保管することは控えてください。

空



運搬

乗用車等で運搬する際は、22ℓ以下の数量で運搬すること。



【ガソリン】は、試験確認済証などの表示がついたガソリン携行缶で運搬してください。

